

三木市との連携協定

プレス発表用 倉本会長メッセージ

このたび、公益社団法人日本プロゴルフ協会は、三木市が提唱する「ゴルフを核としたまちの活性化」の趣旨に賛同し、三木市、三木市ゴルフ協会、兵庫県プロゴルフ会とともに連携協定を締結することとなりました。

当協会が有する人的資源（プロゴルファー）や知的資源（ゴルフ指導のノウハウなど）を有効に活用し、地方創生に寄与できることは、公益社団法人である当協会の目的にも合致するところであります。

昨年来の新型コロナウイルスの感染拡大の中、ゴルフは3密になりにくいスポーツであることが浸透し、さらに、リモートワークによる運動不足解消などを目的として、若者を中心に新規参加者が増えているというデータもあります。

また、今年は松山英樹選手のマスターズ優勝、笹生優花選手の全米女子オープン優勝、稲見萌寧選手の東京オリンピック銀メダル獲得など、歴史的な快挙が相次ぎ、ゴルフ界には強い追い風が吹いていると感じています。

我々ゴルフ界としては、こうした新しいゴルファーをゴルフに定着させることが使命であると思っております。

今回の連携協定がモデルケースとなり、全国に同様の動きが広がっていけば、この追い風にも乗ることができ、ゴルフ界の活性化にも繋がってくるのではないかと考えております。

以上